

【回答】

○教師は児童の模範となるべき存在であり、常に言動に気をつけなければなりません。児童を叱る際にも同様です。現在、本校では教師が子ども達の名前を呼ぶ際には「さん」を付けるなど丁寧な声掛けをするよう取り組んでいます。今後も、子ども達が安心して通える学校、安心して自分の考えを表現できるような学級づくりに努めてまいります。

■毎回アンケートの最初あたりの設問がわかりづらいです。設問からは学校側がどのような方針に基づき教育をしたいかは伝わりますが、各々違う子供達を全体にみてどのように感じるか答えづらいです。アンケートを通して何を把握したいのかあまりわかりません。もっと実になる設問が必要だと感じます。

【回答】

○アンケートの項目については昨年度の内容を見直したものでしたが、保護者の皆様の意見が反映しやすいような質問内容に見直しを図っていきたいと思います。

■学校行事に参加する保護者が少なく、児童数が少ないにもかかわらず高学年になっても全く保護者の顔が見えてこない（分からない）方がいらっしゃる事が気になります。
■学校の活動・行事など保護者の協力に力を入れてほしい。

【回答】

○学校行事の周知方法の工夫はもちろんです、学校としても保護者の皆様と一緒に行事を取り組んでいくという視点が弱かったかもしれません。今後は、保護者の皆様に協力をいただきながら、行事等を進めていきたいと思っています

■1年生の保護者です。4月と比べ児童の自主性が失われており非常に危惧しています。主体的選択が可能なことをあたかも義務として行わせ児童を型にはめている。春の遠足（入園料）の精算・返金を求めます。

【回答】

○子ども達の自主性を育むことは、「自立」を考える上でもたいへん重要だと考えています。学校としては、自主性を育む取組と子ども達が安心できる集団生活のきまりのバランスを取りながら、日々の教育活動を進めていきたいと考えています。

また、春の遠足の入園料については、「引率教諭は無料」という施設側の方針に基づいたものであり、教育委員会からも適正なものであるとされています。そのため、返金については予定しておりません。

※ ご協力ありがとうございました。